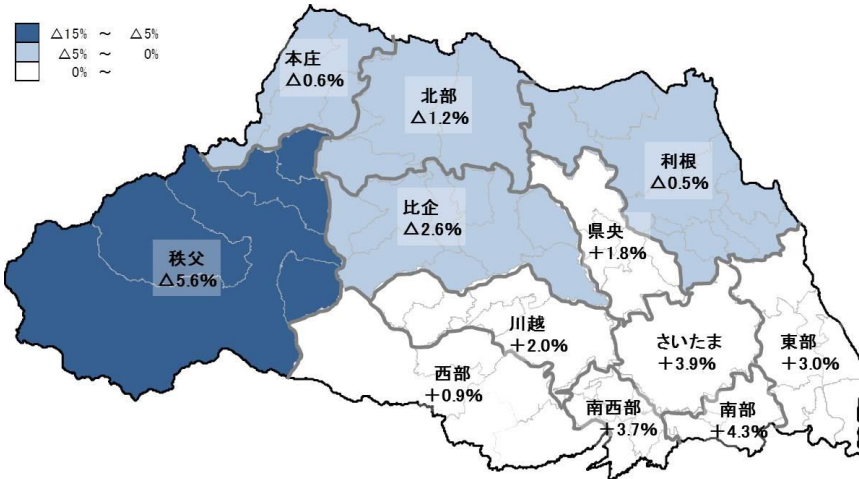


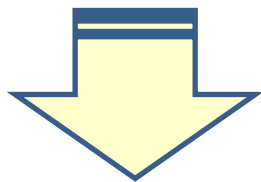
埼玉県の人口の状況と将来展望（埼玉県人口ビジョン） 修正のポイント

1 人口増地域の減少

地域別人口増減率（2005年→2010年）

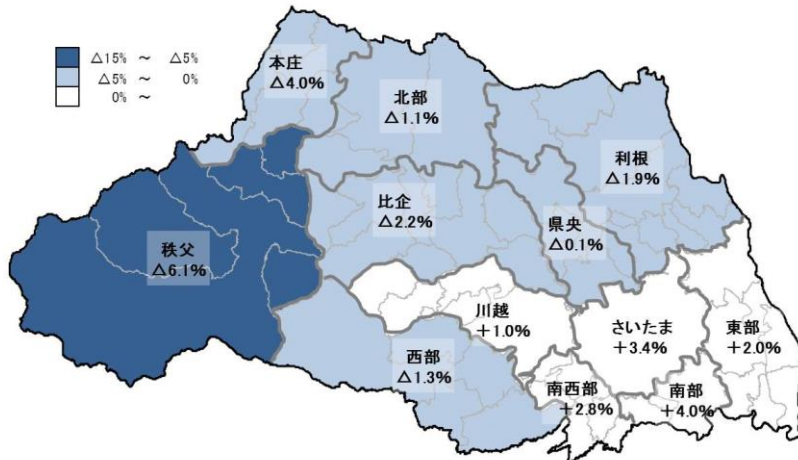


（総務省「国勢調査」を基に作成）



[人口増地域]
7 地域
(南部、南西部、東部、さいたま、県央、川越、西部)
↓
5 地域
(南部、南西部、東部、さいたま、川越)

地域別人口増減率（2010年→2015年）

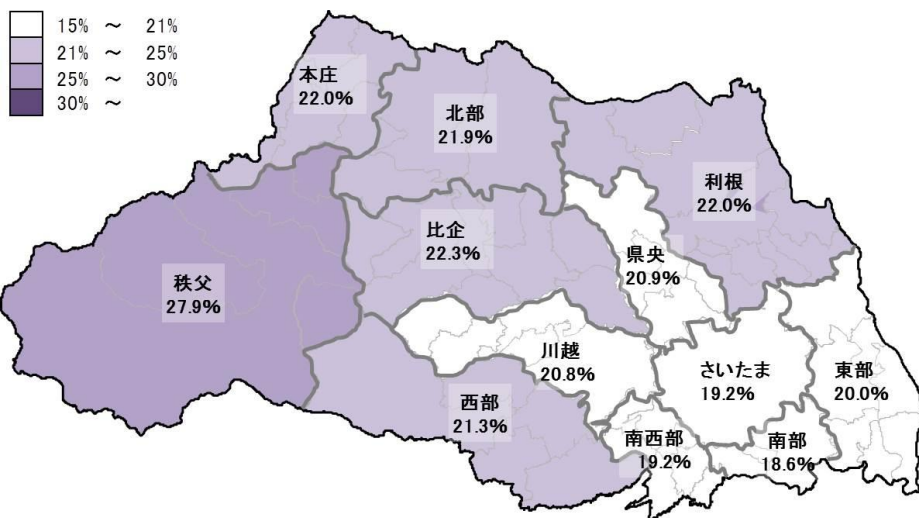


- 人口増地域でもその率は減少
- 人口減地域の率の下がり幅は様々
 - ・本庄は△0.6%→△4.0% (△3.4%)
 - ・比企は△2.6%→△2.2% (+0.4%)
- 40市町村が人口減少
(2010年は31市町村)

（総務省「国勢調査」を基に作成）

2 超高齢社会に入っている地域の増加

地域別高齢化率（2010年）



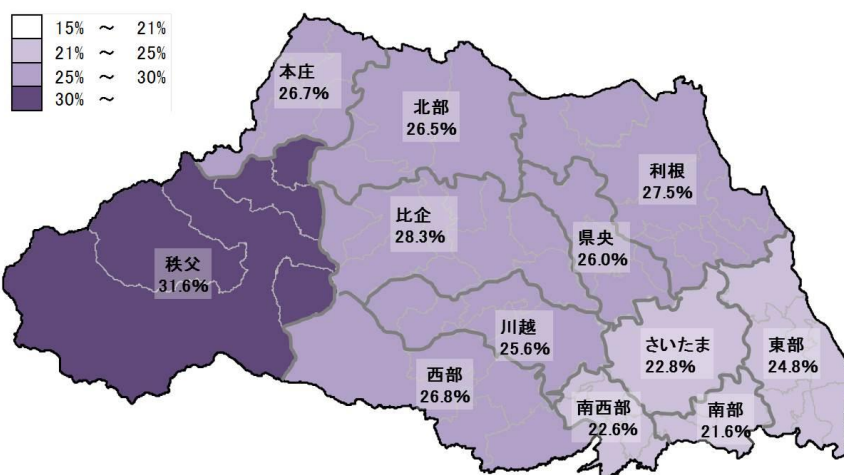
（総務省「国勢調査」を基に作成）



[超高齢社会※に入っている地域]
6地域
(比企、西部、利根、北部、本庄、秩父)
↓
全12地域

※高齢化率 21%超

地域別高齢化率（2015年）



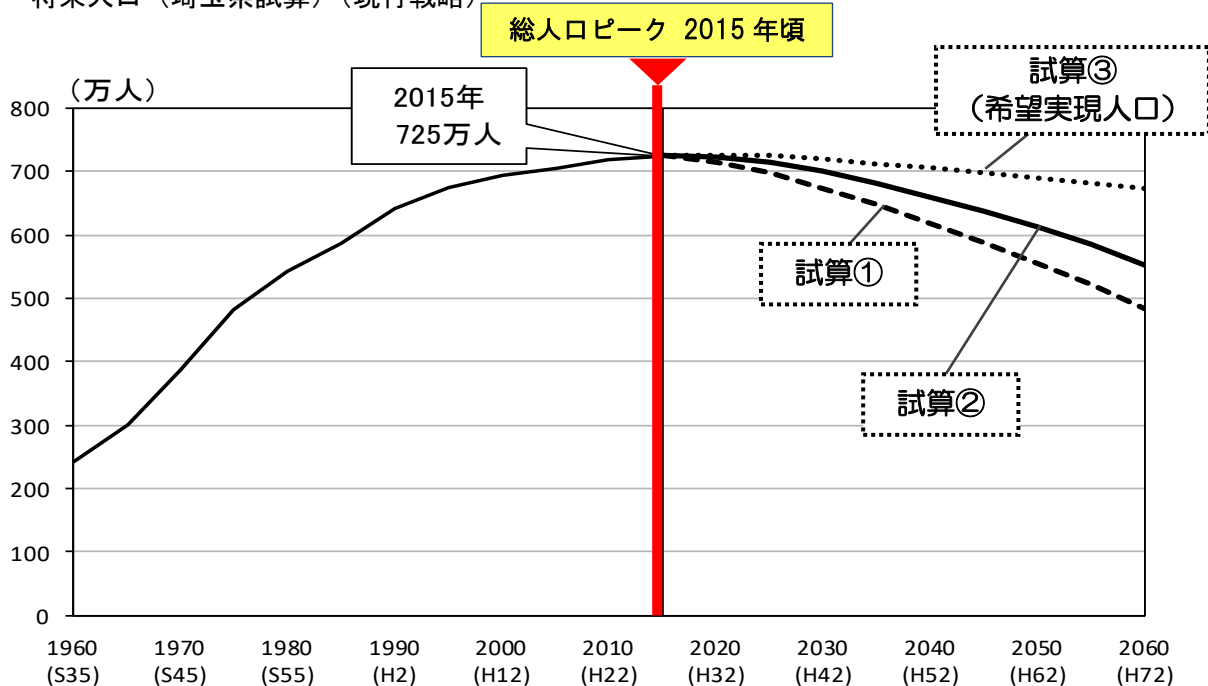
- 高齢化率は全地域で上昇
- 上昇幅は3%~6%
- 60市町村が超高齢社会に入っている
(2010年は35市町村)

（総務省「国勢調査」を基に作成）

3 総人口がピークを迎える時期の後ろ倒し

- [試算①] 今後、社会増が収束し、合計特殊出生率が低い水準のまま推移した場合
- [試算②] 社会増は現在の転入超過の状況が続き、合計特殊出生率は低い水準のまま推移した場合
- [試算③] 社会増は現在の転入超過の状況が続き、合計特殊出生率が上昇する場合

将来人口（埼玉県試算）（現行戦略）



将来人口（埼玉県試算）（第2期戦略）

